

学生が「獣がい」報告

市民センターで 10日にフォーラム

「第4回獣がいフォーラム」多様な担い手で未来を創る」(丹波篠山市獣がいフォーラム実行委員会主催)が10日午後1-3時、同市民センター(黒岡)で開かれる。野生動物が農作物に被害をもたらす被害への対策

を通じ、地域活性化の方法を考えた「獣がい」に関する事例を、今回は高校生や大学生ら若い世代が報告する。2部制。参加無料。

2部で若い世代が報告。放置柿を使ったロールケーキを開発した

さん(篠山東雲高3年)や、川阪集落で農業体験を楽しみながら耕作放棄地再生を目指す「川阪オープンフィールド」に継続して参加している

さん(京都府立大1年)らが発表。獣害対策まで自分たちでした大山小学校のスイカ栽培や、篠山ロータリークラブの獣害対策支援に関する報告もある。

1部では、神戸大学人間発達環境学研究科准

授の さんが畑地区の取り組みを、NP O法人・里地里山問題研究所代表理事の さんが美方郡新温泉町春来地区の取り組みを紹介する。申し込み不要。市農都整備課(079・552・1117)。

丹波新聞
2022年1月9日